

事案名	西合志町の事案（熊本県43-1）
分類	発見・被災・掃海等処理 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「旧軍ガス弾等の全国調査結果報告（案）」〔1〕 ・『朝日新聞』大阪・『朝日新聞』西部昭和38年7月11日〔2〕 ・『熊本日々新聞』昭和38年7月11日〔3〕 ・「旧軍毒ガス弾等の全国調査のフォローアップ調査について（報告）」平成15年10月20日〔4〕 ・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔5〕
資料内容概要	<p>熊本県西合志村（現西合志町）において終戦時に井戸にイペリット缶を遺棄したとの証言があり、自衛隊が捜査した結果、イペリット缶2本が発見され海中に処分した。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和38年7月9～10日（「旧軍ガス弾等の全国調査結果報告（案）」等によれば7月8日～9月22日）に、終戦時に西合志村（現西合志町）で米軍の発見を恐れて古井戸にイペリット缶などを遺棄したという元軍人の届出をうけて自衛隊が捜査した結果、150リットル入りイペリット缶2本を発見した。処分は、海上自衛隊によって行われる予定とされている。処分方法は、規則に従い毒ガスを缶のままコンクリート詰めにして、海岸線が8km以上、深さ200m以上の海中に投棄処分されることとなっていると記載されている〔1〕〔2〕〔3〕〔5〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井戸のあった地点は、現在、住宅地になっている。なお、同住宅地における井戸水の利用はない〔4〕。